

日本労働社会学会『通信』

v o l . XVII , no. 4 (2005 年 5 月)

日本労働社会学会事務局 (第 17 期)

〒 402-8555 山梨県都留市田原 3 - 8 - 1

都留文科大学社会学科 田中夏子 (たなかなつこ)

tel.0554-43-4341 fax.0554-43-4347

e-mail: natsu@tsuru.ac.jp

学会 HP:<http://www.jals.jp>

郵便振り込み口座番号

0 0 1 5 0 - 8 5 0 7 6

「日本労働社会学会 村尾裕美子」

銀行振り込み口座番号

東京三菱銀行 大塚支店

普通 口座番号 1 5 1 9 0 5 1

「日本労働社会学会 会計 村尾裕美子」

- - - - -
目次 日本労働社会学会第 17 回大会 / 自由論題報告のエントリー

. 第 17 回大会 開催日程

. 第 17 回大会 自由論題報告のエントリーについて

. 第三回幹事会報告

1 研究活動委員会 (小川幹事)

(1) 大会シンポのテーマ

(2) 自由報告のガイドライン

(3) 大会関係の日程

(4) 次回以降の研究会の日程

(5) 奨励賞

2 『年報』編集委員会 (白井幹事) 締め切り延長については 3 / 31 に配信済み内容

3 『ジャーナル』編集委員会 (山下幹事) 締め切り延長については 3 / 31 に配信済み内容

4 学会賞選考委員

5 新入会員 (事務局 笹原)

6 . その他

. 次回の研究例会 / 幹事会日程

. 第 17 回大会 開催日程

日本労働社会学会では第 17 回大会を、2005 年 10 月 14 日（金）～16 日（日）の 3 日間の会期で開催します。14 日（金）には工場見学を、15 日（土）には自由論題報告を、16 日（日）にはシンポジウムを、それぞれ予定しています。開催校は常磐大学（茨城県水戸市）です。

. 日本労働社会学会 第 17 回大会 自由論題報告のエントリーについて

つきましては 15 日（土）に開催される、自由論題報告での報告希望者を募集いたします。報告希望者は下記の要領にしたがって、エントリーくださいますよう、よろしくお願ひします。

1 . 下記宛に電子メールにて、エントリー文書を送ってください。電子メールを使用されない方は、同じく下記宛にファックスまたは郵便にて、エントリー文書を送ってください。

2 . エントリー文書には、つぎの 9 項目をかならずご記入ください。

(1) 氏名、(2)ふりがな、(3)所属、(4)連絡先住所、(5)連絡先電話番号、(6)連絡先電子メールアドレス、(7)報告タイトル、(8)報告内容の主旨（150 字程度）、(9)プレゼンテーション機器の使用希望の有無（パワーポイント、OHP など）

3 . エントリー文書送付先

小川慎一（日本労働社会学会・研究活動担当幹事）

E-mail : sogawa@ynu.ac.jp、FAX : 045 - 339 - 3767

住所 : 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 - 4 横浜国立大学経営学部

4 . エントリー締切

2005 年 7 月 1 日（金）厳守。 * 郵送のばあいには同日の消印有効。

5 . エントリー文書に基づいて幹事会で検討のうえ、報告の可否を 7 月中旬にご連絡いたします。

6 . 報告が決定した方は、大会パンフレットに掲載される報告要旨（A4 1 枚）を、7 月 29 日（金）までにご提出いただきます。

7 . 大会当日の報告では、以下の諸注意を厳守いただきます。

(1) 報告当日に報告要旨とは別に、ハードコピーの資料を用意すること（50 部）

(2) プrezentation 機器の使用を希望される方は、USB メモリーや CD-ROM など、コンピュータ間で互換性の高い媒体を用意すること。また念のため、各自のノートパソコンを持参すること。

(3) 報告テーマと先行研究との関係に、報告でかならず触れること。

(4)海外動向を報告テーマとする場合、当該の国・地域の事情に詳しくない者にとつても理解しやすい報告を心がけること。

(5)どこがオリジナルな研究であるのか、聴衆に把握できるような報告を心がけること。

以上

. 幹事会報告

日本労働社会学会第3回幹事会議事録

事務局 笹原

開催日時： 2005/3/19（土）午後 12:30～2:00

開催場所： 青山学院大学第18会議室（10F）

出席者：大重、秋元、大槻、京谷、木下、高橋、白井、山下、村尾、小川、中川、笹原（敬称略、順不同）

欠席者： 赤堀、柴田、大槻、武居、田中、大野（敬称略、順不同）

1 研究活動委員会（小川幹事）

（1）大会シンポのテーマ

前回、アジアの労働状況、労働調査の方法について、教育訓練・能力開発、労働運動の4点が出された。研究活動委員会で持ち帰って検討したが、まだシンポでとりあげたこと最初の3つを候補とした。時宜にかなったテーマという点から、アジアの労働状況をとりあげたい。しかし前回の幹事会で話が出たように、アジアの・・・とすると、各国の状況紹介にとどまり、シンポとしてはもりあがらないことが予想されるので「中国」などのように国を限定した方がいいのではないか。パネリストは日程にも依存するが、少なくとも3人のうち2人は少なくとも会員に頼みたい。

なお、種々議論した結果、シンポジウム報告の圏域としては、東アジア、東南アジア経済圏 中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム、インドネシアあたりをとりあげ、かつ日本企業の労働者活用の段階などのようにトピックを絞った設定を研究活動委員会が再度検討することになり、かつ人選を進めることにした。

（2）自由報告のガイドライン

研究活動委員会として下記の5点が提案され、了承された。

- 1) 発表テーマと先行研究との関係にふれる
- 2) 海外の動向をテーマにする場合には、その国の事情に詳しくない聴衆にも配慮する
- 3) どこか報告者のオリジナルな部分かがわかるような形を示す
- 4) プレゼンテーションの場合は、媒体を考える。
- 5) 発表当日も紙媒体を用意する

(3) 大会関係の日程

1) 大会開催日程について

開催地：常磐大学

開催時期について検討し、第1案 05年10月14(工場見学)(金・夕刻幹事会)15(土),16(日)に決定した。

2) 自由報告募集について

* エントリーを早めにして6月初頭に設定し、少なくとも6月中には締め切りたい。

3) その他

* 使用する部屋の確認：研究大会会場（メイン）と予備（人数が多すぎる場合）のほか、控え室を確保していただきたい。

* 開催校の佐藤守弘先生には次回の幹事会においていただくことにしたい（研究委員会から連絡）

(4) 次回以降の研究会の日程

6月の報告者については、ジャーナル投稿希望者で候補者がいるので、打診したい。

次回研究会（及び幹事会）

開催日時 7月9日(土) 12:30～ 幹事会 14:00～ 研究会

開催場所 青山学院大学（白井幹事に依頼）

研究会報告者は、ジャーナル及び年報投稿希望者など

幹事会は、9月、10月14日(大会時)か。

(5) 奨励賞

そろそろ候補作をノミネートする段階なので、できれば5本ぐらいはノミネートしたい。

以下の3つの条件を満たすものが候補となる。公募はしているが、事実上集まっていないので推薦をお願いしたい。

資格審査（3つの条件）は幹事会でやることになっているので、幹事会で候補作品を決定し、選考委員に依頼する、という手順をふむことになる。まずは著書をあげてもらい、そこでなければ論文を探したい。

1) 学会に2年以上在籍している人であること

2) 2005年度で40歳未満（原則）であること

3) 2004/4/1～2005/3/31に満たされる著書、本、論文

2 『年報』編集委員会（白井幹事）

年報への投稿希望者は今のところないので、当初、3月10日（投稿締め切りは

4月末日)であったエントリーを4月15日に、また原稿締め切りを5月末日まで延ばすことにしたい。

大会に年報の発行を間に合わせるということが重要である(郵送料との関連もあり)年報への投稿希望について種々議論した結果、投稿募集開始が遅れた影響について言及がなされ、次年度は、大会が終わってからの通信で知らせるのではなく、大会の通知の時点での広報が必要ではないかという意見が出た。

3 『ジャーナル』編集委員会(山下幹事)

ジャーナルへのエントリーは今のところ3本であるが、エントリーの締め切りを4月15日までに延ばしたい。投稿希望書締め切りは4月末、原稿締め切りは6月末。発行は年末を予定しており、少なくとも1月には発行したい。投稿希望者3人中2人は研究会での発表を承諾しているので、6月研究会で2人の発表が可能と考えている。

4 学会賞選考委員

京谷会員が代表幹事となったことから、学会賞選考委員のあらたな委嘱が必要となり、北島会員に依頼したところ、お引き受けいただくことになったことが報告され、承認された。

5 新入会員(事務局 笹原)

この間、入会希望のあった2名の方の入会申し込みが紹介され、承認された。

(1) 金沢英樹氏、研究領域は、労使関係、労働組合。

(2) 酒井計史氏、研究領域は、社会学(社会意識と職業、労働、社会階層論、社会調査法)。

6 その他

年報、ジャーナル送付先であるが、東進堂で使用している名簿が古いらしく、戻ってきているものがある。また丸3年滞納をしていると、学会は退会になっているはずだが、年報やジャーナルは送られている。東進堂にある名簿を更新することが必要であるので、2004年10月以降の会員の異動をふまえた最新の名簿を作成し(田中事務局長に依頼)。

村尾会計担当幹事、東進堂に連絡を取ってもらうこととした。

なお、幹事会に引き続き、研究会が開催され、中川功会員(拓殖大学)の報告がなされた。

. 次回幹事会及び研究会

1. 幹事会

2005年7月9日(土) 12:30~ 青山学院大学第17会議室(10F)

2. 研究例会

2005年7月9日(土) 14:00~ 青山学院大学第17会議室(10F)

発表予定者は、『ジャーナル』投稿エントリー者です。